

2020年 詳説世界史 復習テスト

～ 2学期 第11講① 西洋史 §37・38 ～

【世界恐慌とファシズム台頭】 次の文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を書き入れなさい。

1929年10月24日、ニューヨーク株式市場で起こった株価の大暴落をきっかけに、大恐慌と呼ばれる世界的な経済危機が進行した。アメリカ資本の引き上げによってヨーロッパにも恐慌が波及すると、1931年にアメリカ合衆国大統領(1)は、賠償・戦債支払いを1年間停止するモラトリアムを宣言したが、危機の進行には有効な歯止めにならなかった。

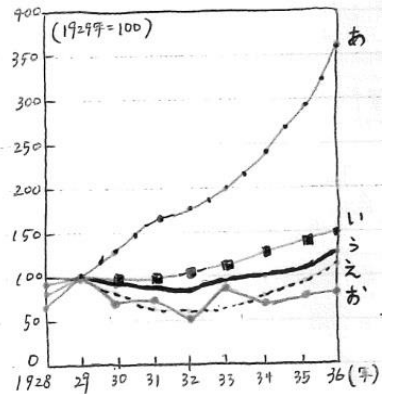
1933年にアメリカ合衆国大統領に就任した(2)は、ニューディールと呼ばれる一連の政策を打ち出して不況からの脱出をはかった。その一つが労働者の団結権と団体交渉権を確定した(3)であり、1935年に制定された。イギリスでは(4)が、1931年に挙国一致内閣を組織して危機の乗り切りをはかった。また1932年にカナダの(5)で開催されたイギリス連邦経済会議の取り決めにより、「スターリング＝ブロック(ポンド＝ブロック)」と呼ばれる経済ブロックが形成された。

ドイツは、世界恐慌により600万人の失業者を生み、政権政党だった(6)党はその対応に無策であったため、ナチ党の政治的台頭を許した。フランスでは、恐慌の波及とともに左右の政治的対立が激化したが、1936年には(7)を首班として反ファシズムをかかげる人民戦線内閣が成立した。(8)が率いるファシスト独裁のもとにあったイタリアでは、恐慌による苦境から脱出するため対外侵略が企てられ、19世紀末に侵略に失敗した(9)に侵攻し、その地を併合した。その後、イタリアは日本とドイツに接近し、両国が結んでいた防共協定に(10)年に参加、日独伊の三国防共協定を成立させるとともに、同年、国際連盟を脱退した。

- (11) 戦間期のイタリアについて、正しい文を1つ選べ。 (12) ニューディール政策に含まれないものを選べ。
- ①ファシスト政権の成立によって、王制は廃止された。 ①失業対策として、大規模な公共事業をおこした。
 - ②ローマ進軍を契機にヴァチカン市国を独立させた。 ②ドイツの賠償やヨーロッパ諸国の戦債の支払いを1年間停止した。
 - ③教皇庁はファシスト政権を承認せず、(8)と対立した。 ③政府が産業を統制し、生産の回復をはかった。
 - ④アルバニアの保護権を獲得し、その後、(9)を併合した。 ④農民の購買力を高めるため、農業調整法を制定した。

- (13) 右のグラフは、世界恐慌後の列強国【ドイツ・アメリカ・イギリス・日本・ソ連】の工業生産の割合の変化の推移を表したものである。(1929年を一律で100%としている)
 グラフ中の折れ線あ～おの内、日本・ソ連・ドイツの推移を指すもの一つを選んで記号で答えなさい。

【工業生産】



【ナチスの政権掌握】

- (14) 次のA～Dの出来事を年代順に並べ変えなさい。
 A：3つ役職を兼任 B：ナチス第一党に C：(★)一揆 D：国会議事堂放火事件
- (15) ヒトラーがCの出来事に失敗し、投獄されている間に口述筆記された本の名前は何か書きなさい。
- (16) Bの出来事の時に、ヒトラーが首相になるのを拒んだ第2代大統領は誰か答えなさい。
- (17) Aの職名をカタカナで表すと何というか答えなさい。
- (18) (★)に入るドイツの都市名を答えなさい。

1		2		3		4	
5		6		7		8	
9		10		11		12	
13	日本：		ソ連：		ドイツ：	14	
15		16		17		18	

2020年 詳説世界史 復習テスト（解答）

～ 2学期 第11講① 西洋史 §37・38 ～

【世界恐慌とファシズム台頭】 次の文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を書き入れなさい。

1929年10月24日、ニューヨーク株式市場で起こった株価の大暴落をきっかけに、大恐慌と呼ばれる世界的な経済危機が進行した。アメリカ資本の引き上げによってヨーロッパにも恐慌が波及すると、1931年にアメリカ合衆国大統領(1)は、賠償・戦債支払いを1年間停止するモラトリアムを宣言したが、危機の進行には有効な歯止めにならなかった。

1933年にアメリカ合衆国大統領に就任した(2)は、ニューディールと呼ばれる一連の政策を打ち出して不況からの脱出をはかった。その一つが労働者の団結権と団体交渉権を確定した(3)であり、1935年に制定された。イギリスでは(4)が、1931年に挙国一致内閣を組織して危機の乗り切りをはかった。また1932年にカナダの(5)で開催されたイギリス連邦経済会議の取り決めにより、「スターリング＝ブロック(ポンド＝ブロック)」と呼ばれる経済ブロックが形成された。

ドイツは、世界恐慌により600万人の失業者を生み、政権政党だった(6)党はその対応に無策であったため、ナチ党の政治的台頭を許した。フランスでは、恐慌の波及とともに左右の政治的対立が激化したが、1936年には(7)を首班として反ファシズムをかかげる人民戦線内閣が成立した。(8)が率いるファシスト独裁のもとにあったイタリアでは、恐慌による苦境から脱出するため対外侵略が企てられ、19世紀末に侵略に失敗した(9)に侵攻し、その地を併合した。その後、イタリアは日本とドイツに接近し、両国が結んでいた防共協定に(10)年に参加、日独伊の三国防共協定を成立させるとともに、同年、国際連盟を脱退した。

(11) 戦間期のイタリアについて、正しい文を1つ選べ。

- ①ファシスト政権の成立によって、王制は廃止された。
- ②ローマ進軍を契機にヴァチカン市国を独立させた。
- ③教皇庁はファシスト政権を承認せず、(8)と対立した。
- ④アルバニアの保護権を獲得し、その後、(9)を併合した。

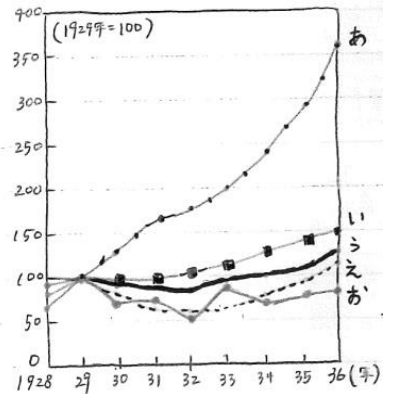
(12) ニューディール政策に含まれないものを選べ。

- ①失業対策として、大規模な公共事業をおこした。
- ②ドイツの賠償やヨーロッパ諸国の戦債の支払いを1年間停止した。
- ③政府が産業を統制し、生産の回復をはかった。
- ④農民の購買力を高めるため、農業調整法を制定した。

(13) 右のグラフは、世界恐慌後の列強国【ドイツ・アメリカ・イギリス・日本・ソ連】の工業生産の割合の変化の推移を表したものである。(1929年を一律で100%としている)

グラフ中の折れ線あ～おの内、日本・ソ連・ドイツの推移を指すものを一つ選んで記号で答えなさい。

【工業生産】



【ナチスの政権掌握】

(14) 次のA～Dの出来事を年代順に並べ変えなさい。

A：3つ役職を兼任 B：ナチス第一党に C：(★)一揆 D：国会議事堂放火事件

(15) ヒトラーがCの出来事に失敗し、投獄されている間に口述筆記された本の名前は何か書きなさい。

(16) Bの出来事の時に、ヒトラーが首相になるのを拒んだ第2代大統領は誰か答えなさい。

(17) Aの職名をカタカナで表すと何というか答えなさい。

(18) (★)に入るドイツの都市名を答えなさい。

1	フーヴァー	2	フランクリン＝ローズヴェルト	3	ワグナー法	4	マクドナルド
5	オタワ	6	ドイツ社会民主	7	ブルム	8	ムッソリーニ
9	エチオピア	10	1937	11	④	12	②
13	日本：い		ソ連：あ		ドイツ：え	14	C→B→D→A
15	我が闘争	16	ヒンデンプルク	17	フューラー	18	ミュンヘン